

1 夏休み・・・今やれること、やるべきことに全力で

3年生は受験の天王山。休憩も含めて計画的に学習することが、結果的に一番多くの学習時間を確保することができ、秋からの成績のジャンプにつながります。

2年生は高校生活の後半に突入です。しっかりと学習時間を確保すると共に、今のうちに大学の情報や入試情報をしっかりとチェックして下さい。

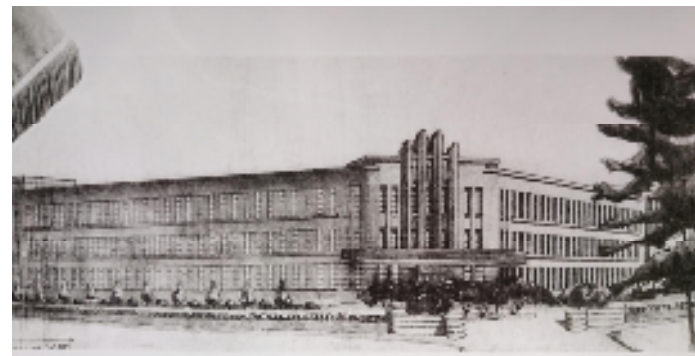
1年生は文理選択に向けてしっかりと準備をしてください。具体的には自己理解と進路情報の収集、そして学習時間の確保です。自分自身を見つめ直したり、10年後20年後の自分を想像してみたりして、自分は何がやりたいのかを考えてみましょう。将来の仕事を考えてみるのもいいでしょう。次にその実現のためには、何を学んだらよいのか、どこで学べるのか、どんな仕事に就いたらいいのか、社会に目を向けて調べてみることです。最後に、希望を支えるしっかりとした学力も。

2 下館一高生のDNA

diamond in the rough

7/12のキャリア講演会では、本校OBの小林誠さんから、国家公務員の仕事についてお話を伺うことができました。難関大を卒業してもなかなかこの仕事には就けないですよ、難しくって。講演のなかで、コミュニケーション力の大切さと育て方など、たくさんのアドバイスをいただきました。また先日、地元の企業の方が求人を訪れてくれました。「本校では就職希望者はほとんどいない」とお話ししても、「何年かに一度でもいいから来ていただける生徒さんがいたら嬉しいです」と言って帰られました。現場でリーダーとして活躍できる人材が欲しいということでした。下館一高は社会で活躍されているたくさんの卒業生がいる伝統校であり、周囲からも期待されています。このPotentialの高さが下館一

高のDNA。せっかくだから磨こうよ。まずは学力とコミュニケーション力。何かをやろうとするときに、学力はその土台を、コミュニケーション力は推進力を与えてくれます。・・・図はかつての本校校舎。伝統校のオーラを感じます。(旧校舎の完成予定図より)



1回行ったくらいで何がわかる。でも行かなきゃもっとわからない

3 夏休みは、大学研究・オープンキャンパスへ

(1) 個別相談を活用しよう。

全体会では、把握しきれなかったことを知る絶好の機会です。例えば、「留年はどれくらいあるのか、実際に留年する学生はどんな学生か」「国家資格に関係する学部であれば、実際入学した学生の何人が受験して、何人が合格しているのか」「茨城から通学している学生は、どれくらいいて、どうやって通学しているのか」「就職率だけではなく、実際に何人就職しているのか。また会社名だけでなく、どんな職種なのか」などなど。

(2) できれば3大学行きましょう。

いろんな選び方があると思いますが例えば、第一志望校、実力相応校、滑り止め校とか、国立と私立を組み合わせるとか。大学への理解が深まるかも。

(3) 施設の綺麗さだけにとらわれないで。

大学に何を求めるかにもよりますが、建物の綺麗さだけが大学の価値ではないですよ。限られた予算を何にかけているのかも大切。建物は古くても、学生の教育活動にしっかりとお金と人材をかけている大学がお薦めです。